

平成27年度 学校自己診断アンケート ―成果と課題分析― 3年生

保護者アンケート

《結果》 A:そう思う B:やや思う C:あまり思わない D:全く思わない (%)

(☆上位5位項目 ★下位5位項目)

	項目	A+B	C+D
1	子どもは学校に行くのを楽しみにしている。	☆173	23
2	子どもは自分の学級が楽しいと言っている。	165	29
3	先生は子どもを理解している。	150	45
4	学校は教育方針をわかりやすく伝えている。	★133	62
5	学校は保護者・地域の願いに応えている	147	40
6	子どもは、授業がわかりやすいと言っている。	★98	94
7	学習の内容や進捗等を懇談や学級通信などによって知ることができる。	★119	77
8	先生は子どもの評価を適切・公平に行っている。	154	36
9	学校は、保護者の相談に応じてくれる。	168	22
10	学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	160	29
11	子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。	137	55
12	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	143	51
13	進路指導面で学校は家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。	★136	61
14	文化祭や体育大会・宿泊行事などの学校行事は、積極的にお参加できるように工夫されている。	☆176	21
15	生徒会活動は活発である。	137	44
16	この学校の部活動は活発である。	171	24
17	学校は子どもに生命を大切にすることや社会ルールを守る態度を育てようとしている。	158	30
18	学校は発達段階に応じて、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	141	38
19	学校は、環境、国際理解、福祉ボランティア等の現代的課題について子どもに学ばせている。	★132	43
20	先生はすべての教育活動において、生の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。	138	44
21	自信や台風などの場合の対応については、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。	☆183	14
22	学校は、保護者や地域の人が授業に参加する機会を設けている。	☆187	8
23	学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。	156	42
24	学校では子どもに関する個人情報を守られている。	☆173	15
25	PTA 活動には参加しやすい。	148	40

《概要》

- 「学校に行くのが楽しい」という項目に肯定的な保護者が多い。
- 「学校の行事にも積極的に参加しやすい」という項目に肯定的な保護者が多い。
- 開かれた社会性が整えられている。
- 現代的課題について子どもに学べる機会が少ないと感じている保護者が多い。

《今後の取り組み》

- 授業のねらいを示すことやICT機器を活用した授業を取り組み、分かりやすい授業を展開していけるよう努力していく。
- 保護者や地域の人々と相互連携を深めながら、信頼関係を築き、学校をより良くしていけるよう努力していく。
- 総合学習等で道徳教育の充実、講演などを設け、人間力の育成に取り組む努力をしていく。

生徒アンケート

《結果》 A：そう思う B：やや思う C：あまり思わない D：全く思わない (%)

(☆上位5位項目 ★下位5位項目)

	項目	A+B	C+D
1	子どもは学校に行くのを楽しみにしている。	218	41
2	子どもは自分の学級が楽しいを言っている。	☆224	34
3	先生は生徒の意見を聞いてくれる。	187	71
4	授業は分かりやすく楽しい。	★140	118
5	授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある。	189	69
6	授業で分からないことについて、先生に質問しやすい。	★165	90
7	先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる。	★176	79
8	評価の仕方や基準について、事前に示されている。	218	39
9	通知表の学習成績に付け方は、納得できる。	198	59
10	悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。	★148	106
11	先生はいじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる。	188	65
12	担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる。	★156	101
13	学校では生活規律や学習規律などの基本的週刊の確立に力を入れている。	203	51
14	将来の進路や生き方についての情報を知らせてくれる。	212	45
15	学校は、進路についての情報を知らせてくれる。	☆235	24
16	学校は奨学金制度についての情報を知らせてくれる。	198	59
17	行事は楽しく行えるように工夫されている。	214	45
18	生徒会活動は活発である。	209	50
19	部活動は活発である。	215	42
20	命の大切に積極的に取り組んでいる。	☆230	25
21	人権について学ぶ機会がある。	☆226	31
22	学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか、知らされている。	218	40
23	授業などでコンピューターを活用している。	☆220	38
24	先生は他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。	180	71
25	環境、国際理解、福祉ボランティアなどについて学習する機会がある。	★168	88

《概要》

- 自分の学級が楽しいと感じている生徒が多い。
- 総合学習等で道徳教育や人権学習を学ぶ機会が充実していると感じている生徒が多い。
- ICT 機器を活用した授業が多い。
- 授業は、半分以上の生徒がわかりにくいと項目に回答している。個々の課題に合わせて取り組む必要がある。
- 先生に対して質問がしやすい、自分が努力したことを認めてくれるという項目に否定的な回答をしている。両者の信頼関係の深まりを充実していく必要がある。

《今後の取り組み》

- 授業のねらいを示すことや ICT 機器をもっと活用した授業を取り組み、分かりやすい授業を展開していけるよう努力していく。
- 授業では、生徒の発表する機会を数多く設け、教師や仲間が認めてあげる授業づくりを展開していく努力をする。
- 挨拶や言葉がけを教師も生徒もお互いにしていき、関わりを増やし、人間関係を築く努力をしていく。